

学校だより **明るく 元気に たくましく**

広島市立広島特別支援学校

校長 中尾 秀行

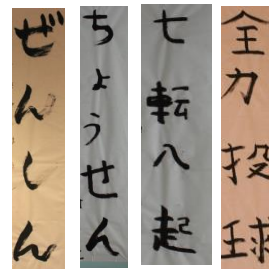
TEL 082-250-7101

FAX 082-250-7102

令和2年2月28日発行

E-mail : yougo-s@e.city.hiroshima.jp

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>



高等部3年生の書き初めに
える力強い決意
←

□ はじめに

例年猛威を振るうインフルエンザの流行の時期に、今年は新型コロナウイルスが猛威を振るい、世界中の人々を不安に陥れています。そんな中でも暖かな日差しの中に春を感じる日も次第に増え、あちこちで「花粉症」という言葉をよく耳にする季節になりました。今年度も残すところ僅かとなり、各学部・学年とも、進級、卒業に向けての取組を行っています。

高等部「3年生を送る会」、小学部「卒業おめでとう会」中学部「卒業生を送る会」と各会で、在校生より卒業生へ心を込めたお祝いの歌や言葉、プレゼントが贈られました。



小学部「卒業おめでとう会」



高等部「3年生を送る会」



中学部「卒業生を送る会」

3月6日(金)には、高等部卒業証書授与式において、106名の生徒が本校から巣立ちます。また、3月13日(金)には小・中学部の卒業証書授与式において、小学部6年生23名、中学部3年生41名に卒業証書が授与されます。卒業は人生の大きな節目です。それぞれの学部で学んだことを大切に、児童生徒がお互いの成長を認め合い、励まし合いながら先へと進んでいくための契機となるよう取り組んでまいります。今回の授与式では新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で学校は最善の対応に努めますが、保護者の皆様にも御協力をいただきながら、卒業生を心から祝福したいと思います。

□ 高等部入学者選考と小・中学部入学調査



高等部入学者選考全体会の様子

2月4日(火)に、高等部普通科の入学者選考を、2月5日(水)に、高等部普通科職業コースの入学者選考を実施しました。普通科83名、職業コース14名、計97名が受検しました。受検者は、皆、真剣に受検に取り組んでいました。本校生も日頃の学習成果を発揮しようと、受検という独特の緊張感の中、一生懸命取り組んでいました。合格者数は、職業コース14名、普通科83名で、2月14日(金)に、合格発表を行いました。後日受験で合格した2名も含めて、3月24日(火)には、本校高等部入学者への説明会を実施します。また、2月19日(水)に小・中学部入学調査を実施しました。小学部は24名、中学部は32名の入学調査を行いました。児童生徒の活動の様子や保護者の方との面談から、児童生徒の実態把握をするとともに、医療的ケア、食物アレルギーに関する

事項、給食の食形態等について、保護者の方から配慮事項をお聞きしました。後日調査を行う幼児児童を加えて、現在のところ、小学部は24名、中学部は本校小学部からの進学者を含め、33名の新入生を迎えます。

高等部の入学式は4月9日(木)、小・中学部の入学式は4月10日(金)です。本校を選んでいただいた幼児児童生徒、保護者の皆様の期待に応えられるよう、更なる教育内容の充実に向けてまいります。

□ 広島県特別支援学校ポッチャ講習会

2月6日(木)に、広島県特別支援学校ポッチャ講習会を本校体育館で開催しました。ヨーロッパで生まれたこのスポーツは、重度脳性まひ者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、東京2020パラリンピックの正式種目にも採用されています。砂の入った白・赤・青の3種類の同じ大きさの革製の球を使用し、ジャックボール(目標球)という白い球に、赤と青の球を投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近付けるかを競います。

今回の講習会には、講師として広島県障害者スポーツ協会 大江健一郎 様、ポッチャ日本代表 古満 渉 様をお招きして競技の説明や実技をしていただきました。その後、広島大学の学生、広島県特別支援学校の先生方も本校の生徒および教職員に加わっていただき、全員が笑顔で楽しめるこのスポーツを心から堪能しました。参加者は、お互いの一つ一つのプレーに感嘆しながら、笑顔で楽しむことができました。老若男女、障害の有無に関わらず全ての人が笑顔で一緒に競技できるこのスポーツを広めていくために、学校としてもできる限りのサポートをしていきます。御協力いただいた皆様、ありがとうございました。



多くの参加者の皆様



結構わくわく感がありました。

□ 小学部低学年学習発表会



第1学年



第2学年



第3学年

2月12日（水）～14日（金）の参観日に合わせて、小学部低学年の学習発表会を行いました。

第1学年のテーマは「もりのおふる」。五つのチームに分かれて発表しました。トンネルくぐりと滑り台のためきチーム、魚釣りや丸太渡りのくまチーム、太鼓とタンバリン演奏のうさぎチーム、フラフープくぐりと的当てのさるチーム、見事な楽器演奏を見せるりすチーム、全てがかわいらしい姿を披露しました。頑張る姿を保護者の皆様に見てもらい、拍手をいただいたことで、達成感と満足感を感じていました。第2学年は劇仕立てで「さつまのおいも」をグループ発表しました。アートと打楽器のコラボレーショングループ、いたずらねずみをやっつけるグループ、おいものつるを見事に飛び越えるグループ、五人組で歌を披露するグループ、いもを掘り出して運搬するグループと分かれて、見事な発表をしました。自分の順番だけでなく、友達の順番もしっかり待つことができている。一回りも二回りも大きくなった姿に非常に多くの保護者の皆様から大きな拍手が送られました。第3学年も、「さつまのおいも」をテーマにして、おそろいのパープルカラーのトンがり帽子をかぶって発表をしました。太鼓グループは太鼓の見事な響き、トレーニンググループは楽しみながらの腕立て、ダンスグループはキラキラの踊り、おやすみグループは音色のきれいな楽器のハーモニーで、参観に来られた皆さんを魅了しました。また、低学年の最高学年にふさわしく一人一役の係をもち、ナレーションや最初と最後の挨拶などについても責任をもって、友達と協力しながら行いました。保護者の皆様には一年一年成長する姿をしっかり見ていただけたと思います。御家族の方やいつもお世話になっている方々に見守られ、子どもたちは、もてる力をしっかり発揮できたと思います。これからもたくさんの方に挑戦してほしいと願っています。

□ 広島市立広島工業高等学校製作スイッチ



高校生のお兄さんと、ドキドキしながら操作。

2月13日（木）に、広島市立広島工業高等学校情報電子科第3学年後藤陸さんと神崎永遠さんが、本校児童生徒のために「ユビキタスイッチ」を製作して届けてくださいました。小さなつまみ等で操作する家電製品を、手のひら大の押しボタンで安全にON/OFFできるスイッチです。小学部第6学年4・5・6組の児童と一緒に操作を体験しました。「スイッチを押して反応を見ていたのが分かってうれしかった。」と後藤さん。「安全面と衛生面に気を付けた。」と神崎さん。御協力をいただきました広島市立広島工業高等学校の生徒・先生方の皆様ありがとうございます。これからも、2校の交流が末長く続いていくことを心から願っています。

□ 学校保健委員会



佐久間学校眼科医による携帯型ビジョンスクリーナーの実演に興味津々でした。

2月13日（木）に、第2回学校保健委員会を行いました。最初に、福原宏平学校整形外科医から「知っておきたい赤ちゃんと成長期の整形外科疾患」と題して講話をいただきました。成長期独特のオズグッド病やシーバー病について、実際の写真を基に分かりやすく解説していただきました。また、佐久間修学校耳鼻科医には実物のスポットビジョンスクリーナーを御持参いただき、乳幼児から大人までの視機能を数十秒で行う正確なスクリーニングを実際に体験させていただきました。上田裕次学校歯科医からは、本校の「未処置歯あり」に該当する生徒児童数の増加を受けて、今後のフッ化洗口を推奨されました。森美喜夫学校医からは、現在世界を席巻しているコロナウイルスについて、その防止と対処法についてお話をいただきました。本校からは、令和2年度の学校保健行事計画、今年度の食育の取組等について報告させていただきました。これからも、安全・安心な学校づくりに努めてまいります。

□ 学校協力者会議

2月21日（金）に、第3回学校協力者会議を行いました。今回は、6名の学校協力者会議委員の皆様に出席していただきました。

校長より学校の現状や平成31年度学校経営計画最終評価について説明しました。委員の皆様から、お互いが成長し合える組織文化の醸成と教育改革や働き方改革について質問があり、全員で真剣に協議しました。皆様は、本校のそれぞれの取組に対して、高く評価していただきました。また、増築についても話が及び、地域の中心としての意識を高くもち頑張してほしいという励ましもいただきました。委員の皆様、ありがとうございました。



学校協力者会議の様子